

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>論理的な文章を読み、文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。形式段落ごとに内容を正しく把握することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確に捉え、それぞれの働きや関係によってどのような論が展開されているのか説明することができる。 ・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。 ・ 文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・ 指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・ 筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・ 文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。 ・ 難解な語句について理解できる。 <p>小説等を読んで、登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。優れた表現を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>中島敦『山月記』・夏目漱石『こころ』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、理由を説明できる。 ・ 比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。 ・ 作品の主題を的確に読み取ることができる。 ・

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。 ・書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。 <p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。 ・指定された字数内で自分の主張を的確に表現することができる。 <p>成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。 ・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち難解なものの意味を理解する。 ・常に辞書を引き、語彙を増やすことをこころがけると同時に、小テストなどにより定着するよう努めさせる。

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>論理的な文章を読み、文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。形式段落ごとに内容を正しく把握することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確に捉え、それぞれの働きや関係によってどのような論が展開されているのか説明することができる。 ・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。 ・ 文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・ 指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・ 筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・ 文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。 ・ 難解な語句について理解できる。 <p>小説等を読んで、登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方・考え方・生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。優れた表現を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>司馬遼太郎『天明の絵師』・村上春樹『偶然の旅人』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、理由を説明できる。 ・ 比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。 ・ 作品の主題を的確に読み取ることができる。

学修指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的や手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。 ・書き手の主張や意図を読み取り、説明できる。 <p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。 ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分について、詳しく説明・解説することができる。 ・指定された字数内で自分の主張を的確に表現することができる。 <p>成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。 ・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち難解なものの意味を理解する。 ・常に辞書を引き、語彙を増やすことをこころがけると同時に、小テストなどにより定着するよう努めさせる。

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(序) 私 た ち の 時 代 と 歴 史	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。	近現代の歴史事象と現在との関連を考察するための、資料活用の方法、技能、態度を身につけ、様々な観点から歴史を考察し説明できる。
(1) 近 代 の 日 本 と 世 界	<p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移 (ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や分化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<p>世界史との関連性を意識しながら、政治にとどまらず幅広い分野からその時代を考察し、説明できる。</p> <p>欧米列強の進出によるアジアの国際情勢の変容、欧米列強の接近に対し幕府や諸藩、様々な立場の人々がどのような反応をし、どのような改革を試みたかを、時間の推移と状況の変化のなかで説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幕府諸藩の改革 ・ 江戸時代後半の学問・思想 ・ 国内状況・対外情勢への対応 ・ 開国による幕政の変化 ・ 国際社会に組み込まれた日本社会の変化 ・ 新たな政権の成立過程と近代化政策 ・ 初期の外交、国境の確定 ・ 民権運動と政府の対応 ・ 政府の財政政策と国民生活の変化 ・ 大日本帝国憲法の特色とそれに基づく政治体制 <p>を主要な観点とし、日本の近代化がどのような特徴を持っているかを、世界史やアジア諸国との関連のなかで説明できる。</p>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<p>国際情勢の変化の中で、日本のアジア外交がどのような意図の下で進められていくかを、対外関係・国内情勢との関連で説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会制度の進展 ・ 朝鮮をめぐる内外情勢と日清戦争 ・ 中国をめぐるアジア情勢の変化 ・ 日露戦争と戦後の植民地統治 ・ 戦後の社会情勢の変化 <p>を主要な観点とし、急速な近代化の中で、日清日露戦争が国際関係の中で日本の立場をどう変化させたか、また政治・経済のどのような変化をともなったかを説明できる。</p>
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>政府主導の急速な近代化の特徴と、国民生活・社会の変化、近代的な思想・学問の発展の様子を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本における産業革命 ・ 経済の発展と国民生活の変化 ・ 大衆社会の出現と学問・文化 <p>を主要な観点とし、現代につながる産業社会・大衆文化の萌芽・成長の過程を説明できる。現代との関わりという点で主体的な問題意識を持ち、思考したことを他者に説明できる。</p>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(2) 大戦期の世界と日本</p>	<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p>	<p>現代社会の形成に密接に関わる両大戦が、いかなる原因で、どのような過程をおって勃発することになったか、世界史との関連に留意しつつ、アジア情勢の変化や日本の国内情勢の変容とともに考察し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州における大戦と日本の対外政策 ・ 日本の対外政策の変容 ・ 20年代の恐慌と日本の対応、世界の状況 ・ 大陸進出の始まりと国内の政治情勢 ・ 日中戦争本格化と国内外の動向 ・ 太平洋戦争の勃発と経過、アジア政策 <p>を主要な観点とし、アジアとの関係、ヨーロッパ諸国との関係、アメリカとの関係、日本の国内状況を説明できる。</p> <p>近代の歴史が現代の生活と深く関わっていることを学び、身近な問題として、主体的に考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業の発展 ・ 国際状況が国民に与える影響 ・ 身近な地域社会の変容 <p>を主要な観点とし、近代の様々な分野について各自が設定した主題について主体的に学び、その成果を他者に説明できる。</p>
<p>(3) 現代の日本と世界</p>	<p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>日本の急速な近代化が両大戦を経て挫折し、新しい国際社会の枠組みの中で国家の再建が始まったことを、占領下の改革の特徴のその変容を含めて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 占領政策と新憲法の制定 ・ 冷戦の影響と日本 <p>を主要な観点として、政治制度や国際環境の激変とそれに対する対応を、現代の諸問題と関わらせながら説明できる。</p>

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。 内容の(2)のウ及び(3)のウについては、資料を活用して歴史を考察したり、その結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<p>占領期以降のわが国の歩みを、政治・経済・社会・国際情勢など多様な視点から説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後の政治状況と国際情勢 ・ 戦後経済の歩みと国民生活・意識の変化 ・ 高度経済成長以降の政治経済の変化と冷戦の終結 ・ 「失われた10年(20年)」と55年体制の崩壊 ・ 2000年代の日本と世界 <p>を主要な観点として、より広い視野をもって将来への考察を行い、考えたことを他者に説明できる。</p> <p>各自の興味・関心に応じて探究主題を設定し、これまでの授業で身につけた資料活用力や表現力を活かしつつ、現代が抱える問題について、過去にさかのぼって歴史的に捉えた結果を踏まえて解決の方策を考察し、その考えを他者に説明できる。</p>

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p> <p>イ 世界の人々をとりまく自然環境 世界の気候や地形的特徴、日本の自然や地形的特徴を考察し、人間と自然がどうかかわっているのかを考える。</p> <p>イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察 環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</p>	<p>生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
<p>(1) 現 代 世 界 の 系 統 地 理 的 考 察</p>	<p>地形や気候といった自然環境を通して諸事象の空間的な規則性、傾向性やそれらの要因などを系統地理的に考察させるとともに、現代世界の諸課題について地球的視野から理解させる。</p> <p>ア 世界の気候 ケッペンの気候区分を中心に、地域の気候環境の特徴や、土壌、植生、風系についても理解させる。</p> <p>イ 世界の地形 プレートテクトニクス、大地形、小地形、地形図読図等を通して、人間と地域との関係を学ぶ。 総合的に世界の地形、気候、植生などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活などのかかわりなどについて考察させるとともに、現代世界の環境問題を考察させる。</p> <p>ア 資源、産業</p>	<p>〔地理情報と現代の地図〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・We B GISを用い学校周辺の地域や、世界の地形、交通の動き、環境の変化等を知ることができることを理解させる。そして得た情報から何がわかるか、考察させる。 データとして得られた情報を紙ベースの地図におこし、考察させる。 <p>〔地図の活用と地域調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル地図と紙ベースの地図を両方使用して学校周辺の地域的特色を理解させる。 ・地図を持って巡検に行き、理解したことを報告書にまとめる。
<p>(2) 産 業 と 資 源 の 考 察</p>	<p>世界の資源・エネルギーや農業、工業、流通、消費などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を考察させる。</p> <p>ア 人口、都市・村落</p>	<p>〔世界の地形〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の大地形、小地形の成因、特徴等を地図を参考に理解する。 ・地震、津波、火山、水害等の自然災害を理解する。 ・プレートテクトニクスについて、理解する。 <p>〔世界の気候〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気の大循環の成因、風系について理解する。 ・ケッペンの気候区分に基づく、世界の各地域の気候的特徴を理解する。 ・各地域の植生や土壌もその地域の気候と密接に結びついていることを理解する。
<p>(3) 人 口 ・ 都 市 ・ 村 落</p>	<p>世界の人口、都市・村落に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の人口、居住・都市問題を考察させる。</p>	

<p>(4) 生活文化、民族・宗教</p>	<p>ア 生活文化、民族・宗教 世界の生活文化、民族・宗教に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や民族と国家の関係などについて考察させるとともに、現代世界の民族、領土問題を考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の環境問題について学ぶ。 [農林水産業] ・世界の農業地域、流通、森林や水産資源について理解する。 ・世界の食糧問題について理解する。 [エネルギーと鉱産資源] ・エネルギー生産には地域性があることを理解する。 ・世界の金属資源や化石燃料の問題について理解する。 [工業の立地と工業地域] ・工業立地の変容と多国籍企業について理解する。 ・先進国と発展途上国の産業集積について理解する。 ・第三次産業、貿易の変遷を理解する。 [世界の人口分布と人口増加] ・人口ピラミッドや人口移動の変遷について理解する。 [さまざまな都市の発達] ・先進国と発展途上国の人口問題について理解する。 ・大都市の問題を理解する。 ・村落の機能と形態について理解する。 [民族・言語・宗教] ・国家と民族の関係について理解する。 ・世界の民族問題や宗教上の対立等について学ぶ。 [国家と領土問題] ・国家の領域、領土問題を理解する。
<p>(5) 現代社会の地誌的考察</p>	<p>ア 現代世界の地域区分 現代世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の疑念、地域区分の意義を理解させるとともに、その有用性に気付かせる。</p> <p>イ 現代世界の諸地域 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し、各地域の多様な特色や課題を理解させるとともに、現代世界を地誌的に考察する方法を身に付けさせる。</p> <p>ウ 現代世界と日本 現代世界における日本の国土の特色について、多面的・多角的に考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土の在り方などについて展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進国と発展途上国の人口問題について理解する。 ・大都市の問題を理解する。 ・村落の機能と形態について理解する。 [民族・言語・宗教] ・国家と民族の関係について理解する。 ・世界の民族問題や宗教上の対立等について学ぶ。 [国家と領土問題] ・国家の領域、領土問題を理解する。

[現代世界の諸地域]

・南北アメリカ、アフリカ、オセアニアを中心に、地域の特徴や他の地域との関係について理解する。

[現代世界の日本]

・日本が直面する地理的な諸課題について広く理解する。

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
(1) 私たちの生きる社会 (2) 現代社会と人間としての在り方生き方	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>「現代社会」の授業を進める際、幸福、正義、公正の3つの概念をキーワードにしていくことを理解させる。</p>
	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて</p>	<p>青年期と自己の形成に関しては、次の事項を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青年期を表す言葉 ○青年期の欲求、マズローの欲求階層説 ○青年と伝統文化、国際化 <p>現代の民主政治と政治参加の意義に関しては、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民主政治の形成過程を社会契約説の主張を踏まえて把握させる。 ○議院内閣制と大統領制の特徴と相違 ○日本国憲法の成立過程と三大基本原理 ○平和主義とわが国の安全保障 ○基本的人権の保障と新しい人権について具体的事例を使って ○国民主権と議会制民主主義を国会の機能に着目して ○内閣の構成と権限および行政拡大と民主化 ○裁判所の機能と役割、裁判員制度のあらましとその意義について

	学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
(3) 共に生きる社会を目指して	<p>考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>現代の経済社会と経済活動の在り方については、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済体制（資本主義と社会主義） ○現代の企業 ○市場経済の機能と限界 ○経済成長と国民所得 ○政府の役割と財政 ○金融の機能 ○経済成長と景気変動（GDP、NIの計算） ○雇用と労働問題 ○日本の社会保障 <p>国際社会の動向と日本の果たすべき役割については、次の事項を理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際法と国際連合 ○国際政治の展開 ○人権と民族問題 ○国際経済のしくみと貿易 ○地域的経済統合（EU、ASEANなど） ○国際協力の在り方 <p>現代社会に関する諸課題については、次の事項のうちから2つ程度を選択させ課題学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球環境問題 ○資源・エネルギー問題 ○科学技術の発達と生命倫理 ○人口問題と私たちの未来 ○発展途上国の貧困

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(1) ア 式と証明 い (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算 ろ 3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、 い それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 ろ また、整式の除法や分数式の四則計算について理 な 解し、簡単な場合について計算をすること。 式</p> <p>(イ) 等式と不等式の証明 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p>	<p>・ 3次式の因数分解の公式を活用できる。</p> <div data-bbox="794 277 1414 405" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の式を因数分解せよ。 $a^6 - b^6$</p> </div> <p>・ 二項定理の考え方を活用できる。</p> <div data-bbox="794 472 1414 719" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例1) $(a + 2b + 3c)^7$の展開式における $a^3b^2c^2$の項の係数を求めよ。 (例2) 二項定理を用いて、次の等式を導け。 ${}_nC_0 + {}_nC_1 + {}_nC_2 + \cdots + {}_nC_n = 2^n$</p> </div> <p>・ 分母や分子に分数式を含む分数式の計算ができる。</p> <div data-bbox="794 763 1414 1021" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の式を簡単にせよ。 $\frac{\frac{1}{x}}{1 - \frac{1}{x}}$</p> </div> <p>・ いろいろな性質を用いて、不等式の証明ができる。</p> <div data-bbox="794 1160 1414 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の不等式を証明せよ。 (1) 不等式 $a^2 + b^2 + c^2 \geq ab + bc + ca$ を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。 (2) 不等式 $a + b \leq a + b$ を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。</p> </div> <p>・ 不等式を最大・最小問題へ活用できる。</p> <div data-bbox="794 1615 1414 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) $x > 2$ のとき、$x + \frac{1}{x-2}$ の最小値を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類を判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>(イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文字を含む2次方程式に解の判別を活用できる。 (例) 2次方程式 $x^2 + (m+1)x + 1 = 0$ の解の種類を判別せよ。 • 解と係数の関係を利用して、2次方程式を作ること等に活用できる。 (例) 2次方程式 $x^2 - 7x - 1 = 0$ の2つの解を α, β とするとき、$\frac{2}{\alpha}, \frac{2}{\beta}$ を解とする2次方程式を作れ。 • 3次方程式の解と係数の関係を利用して、種々の問題に活用できる。 (例) 3次方程式 $x^3 - x^2 - x - m = 0$ の3つの解が $2, \alpha, \beta$ であるとき、次の値を求めよ。 (1) m (2) $\alpha + \beta + 2$ (3) $2\alpha\beta$ • 剰余の定理の考え方を活用できる。 (例) 整式 $P(x)$ を $(x-1)(x-2)$ で割ると余りは $3x-5$、$P(x)$ を $(x-1)(x+2)$ で割ると余りは $-5x+3$ である。$P(x)$ を $(x-2)(x+2)$ で割った余りを求めよ。 • 方程式の解が与えられたときなどに、因数定理の考え方を活用できる。 (例) 3次方程式 $x^3 - 3x^2 + ax + b = 0$ が、$1+i$ を解に持つとき、実数の定数 a, b の値を求めよ。また、他の解を求めよ。 • 因数定理を用いてやや複雑な因数分解ができる。 (例) 次の式を因数分解せよ。 $2x^3 - 5x^2 + 1$

学習指導要領		昭和高校 学力スタンダード
<p>(2) 図形と方程式</p> <p>ア 直線と円 (ア) 点と直線 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>(イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>	<p>• 座標を利用して図形の性質を証明できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) $\triangle ABC$ の辺 BC の中点を M とすると</p> $AB^2 + AC^2 = 2(AM^2 + BM^2)$ <p>であることを証明せよ。</p> </div> <p>• 二直線の垂直条件を利用して、三角形の性質について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) $\triangle ABC$ の 3 つの頂点から、それぞれの対辺に下した垂線 AL, BM, CN は 1 点で交わることを証明せよ。</p> </div> <p>• 二直線の交点を通る直線について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 2 直線 $x + 2y - 10 = 0, 2x + 3y - 7 = 0$ の交点を通り、点 $(5, 6)$ を通る直線の方程式を求めよ。</p> </div> <p>• 二つの円の交点を通る直線や円の方程式を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 二つの円 $x^2 + y^2 - 1 = 0$ と $x^2 + y^2 + 4x - 4y + 3 = 0$ について次の問いに答えよ。</p> <p>(1) この二つの円が 2 点を共有することを示せ。</p> <p>(2) この二つの円の交点を通る直線の方程式を求めよ。</p> <p>(3) この二つの円の交点を通り、原点を通る円の方程式を求めよ。</p> </div> <p>• 中心が原点ではない円について、その円周上の点における接線の方程式について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 円 $(x - 2)^2 + (y - 1)^2 = 25$ 上の点 $P(6, 4)$ における接線の方程式を求めよ。</p> </div>	

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(3) イ 三角関数 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p>	<p>・連立不等式の表す領域を点(x, y)が動くとき、x, yの一次式$ax + by$のとり範囲について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 次の連立不等式の表す領域を D とするとき、D を図示せよ。また、点(x, y)がこの領域を動くとき$2x + 3y$の最大値と最小値を求めよ。</p> $\begin{cases} 2x + y \leq 6 \\ x + 2y \leq 6 \\ x \geq 0 \\ y \geq 0 \end{cases}$ </div> <p>・扇形の面積や周の長さを多面的に考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 周の長さが 18cm の扇形について、次の間に答えよ。</p> <p>(1) 扇形の中心角を θ、半径を r とするとき、θ を r で表せ。</p> <p>(2) 扇形の面積が最大になる場合の面積、半径、中心角を求めよ。</p> </div> <p>・三角関数のグラフをかくことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) $y = 2\cos(2\theta - \frac{\pi}{3})$ のグラフをかけ。また、その周期を答えよ。</p> </div> <p>・対称式を活用して、式の値を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) $\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{4}$ のとき、次の式の値を求めよ。</p> <p>(1) $\sin \theta \cos \theta$</p> <p>(2) $\sin^3 \theta + \cos^3 \theta$</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(ウ) 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それをを用いて2倍角の公式を導くこと。</p> <p>(4) ア 指数関数 指数関数 指数関数・対数関数 (ア) 指数の拡張 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。</p>	<p>・式変形などを活用して、三角関数を含む方程式、不等式の解を求めたり、三角関数の最大や最小について考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例1) $0 \leq \theta < 2\pi$ のとき、次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) $\sin\left(2\theta - \frac{\pi}{6}\right) = \frac{\sqrt{3}}{2}$</p> <p>(2) $\cos\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right) \leq -\frac{\sqrt{3}}{2}$</p> <p>(例2) 次の関数の最大値、最小値を求めよ。 また、そのときの θ の値を求めよ。</p> <p>(1) $y = -\cos^2 \theta - 4\sin \theta + 2$ ($0 \leq \theta < 2\pi$)</p> <p>(2) $y = \sin^2 \theta + \cos \theta + 1$ ($0 \leq \theta < 2\pi$)</p> </div> <p>・指数法則や累乗根の性質を利用して、対称式の計算や乗法公式に活用できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例1) 次の計算をせよ。ただし、$a > 0, b > 0$ とする。 $\left(\sqrt[3]{a} - \sqrt[3]{b}\right)\left(\sqrt[3]{a^2} + \sqrt[3]{ab} + \sqrt[3]{b^2}\right)$</p> <p>(例2) $a > 0$ とする。$a^{\frac{1}{3}} + a^{-\frac{1}{3}} = 4$ のとき、次の式の値を求めよ。</p> <p>(1) $a + a^{-1}$</p> <p>(2) $a^{\frac{1}{2}} + a^{-\frac{1}{2}}$</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p> <p>(イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>	<p>・各数の指数に合わせて累乗するなどの処理を行って、大小関係を求めることができる。</p> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号<を用いて表せ。 $\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \sqrt[6]{6}$</p> <p>・文字の置き換えを行って、指数方程式や指数不等式、関数の最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>(例1) 次の方程式、不等式を解け。 (1) $2 \cdot 4^{x+1} - 17 \cdot 2^x + 2 = 0$ (2) $9^x - 8 \cdot 3^x - 9 < 0$</p> <p>(例2) $y = 4^x - 2^{x+2} + 1$ ($-1 \leq x \leq 2$) の最大値・最小値と、そのときの x の値をそれぞれ求めよ。</p> <p>・対数の性質を用いて、いろいろな計算を行うことができる。</p> <p>(例1) 次の計算をせよ。 $(\log_2 3 + \log_4 9)(\log_3 4 + \log_9 2)$</p> <p>(例2) $\log_{10} 2 = a, \log_{10} 3 = b$ とするとき、 $\log_{12} 45$ の値を a, b を用いて表せ。</p> <p>・複雑な対数方程式や対数不等式を解くことができる。</p> <p>(例) 次の方程式を解け。 $(\log_3 x)^2 - 4 \log_3 x + 3 = 0$</p> <p>・文字の置き換えを行って、最大値、最小値を求められる。</p>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>ア 微分の考え (ア) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p> <p>(4) 微分・積分の考え</p>	<div data-bbox="791 237 1401 416" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) $x > 0, y > 0, x + 2y = 8$ のとき、 $y = \log_{10} x + \log_{10} y$ の最大値を求めよ。 また、そのときの x, y の値を求めよ。</p> </div> <p>・対数や指数の大小関係を求められる。</p> <div data-bbox="791 524 1388 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号 $<$ を用いて表せ。 $\log_2 7, \log_4 55, 3$</p> </div> <p>・常用対数を活用できる。</p> <div data-bbox="791 815 1388 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 6^{50} は何桁の数か。 また、最高位の数は何か。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771$ とする。</p> </div> <p>・瞬間の速さなどの具体的な事象の考察において、平均変化率や極限の考えを利用して考察することができる。</p> <div data-bbox="791 1303 1375 1590" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 真下に落下する物体の t 秒後の落下距離 $h(t)$ は $h(t) = 4.9t^2$ で表される。このとき、次の間に答えよ。</p> <p>(1) 2 秒後から $2 + h$ 秒後までの平均の速さを求めよ。</p> <p>(2) 2 秒後の瞬間の速さを求めよ。</p> </div> <p>・2 曲線が交わらない場合の共通接線を求めたり、2 曲線が接するための条件を理解する。</p> <div data-bbox="791 1747 1375 1886" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 2 つの放物線 $y = x^2$ と $y = -x^2 + 6x - 5$ の共通接線の方程式を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること</p>	<p>・2次や3次の関数について、区間が文字を使って表されている場合について最大値や最小値を考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) $a > 0$ とする。関数 $y = x^3 - 3x^2 + 1$ の $0 \leq x \leq a$ における最大値・最小値を求めよ。</p> </div> <p>・具体的な事象の考察を微分の考え方をを用いることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 半径が3の球に内接する直円錐のうちで、体積が最も大きいものの底面の半径、高さ、及びそのときの体積を求めよ。</p> </div> <p>・3次関数の極値をもつ条件や極値をもたない条件について理解できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 関数 $f(x) = x^3 + x^2 + ax - 1$ が極値をもたないための必要十分条件を答えよ。</p> </div> <p>・定数項に文字定数を含む3次方程式の実数解の個数について、曲線と直線の共有点を考えることによって考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 3次方程式 $x^3 - 12x + 5 - a = 0$ が、異なる2個の正の解と1個の負の解をもつとき、定数 a の値の範囲を求めよ。</p> </div> <p>・定積分の値が定数になることを利用して、積分方程式を解くことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 等式 $f(x) = 3x^2 + \int_{-1}^1 f(t)dt$ を満たす関数 $f(x)$ を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	昭和高校 学力スタンダード
<p>(イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 放物線や直線で囲まれた複雑な形の面積を求めることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 放物線 $y = x^2 - 2x + 4$ に原点 O から2本の接線を引くとき、放物線と2本の接線で囲まれた部分の面積 S を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 絶対値を含む関数や3次関数といった様々な関数についても、それらのグラフで囲まれた部分の面積を求めることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) $y = x(x+1)(x-1)$ と x 軸で囲まれた部分の面積の和を求めなさい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例2) 関数 $y = x^2 - 1$, x 軸, 直線 $x = 2$ で囲まれた図形の面積を求めよ。</p> </div>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p>	<p>ア 運動の表し方</p> <p>(ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き</p> <p>(ア) 様々な力 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10^nを表すk (キロ) やm (ミリ) などの代表的な接頭語を使用できる。 ・ 物理量の単位は、基本単位を組み合わせてできる組立単位であることを知る。 ・ 定義に基づき速度を理解し、$x-t$ グラフから、速度の大小及び正負を判断できる。 ・ 日常の事象を基に、直線上の合成速度、相対速度について知る。 ・ $v-t$ グラフから速度の増減を認識し、加速度の大小及び正負を判断できる。 ・ 重力、垂直抗力、張力、摩擦力（静止摩擦力・動摩擦力）、弾性力及び浮力がどのような力であるかを知り、それぞれを図を用いて表現できる。また、重力や弾性力については、それぞれの大きさが計算できる。 ・ 力の合成、分解の作図ができる。また、力がつり合っている場合、力のベクトル和が0になることを理解する。 ・ 二つの力学台車による衝突実験などから、力が働くときには二つの物体が互いに力を及ぼし合っていることを知る。 ・ 慣性の法則に関連した現象を、日常生活から挙げるができる。 ・ 加速度の大きさは加えた力の大きさに比例し、物体の質量に反比例することを理解する。 ・ 自由落下の運動の公式を用いて、1秒ごとの落下速度や距離が計算でき、空気中の落下における空気抵抗の影響について知る。 ・ 鉛直投射などを通して、重力加速度の向きは常に下向きであることについて知る。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(2) ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p> <p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p> <p>イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 仕事の定義を理解し、力の向きと物体の移動の向きが同じである場合や逆の場合、垂直の場合の仕事进行計算できる。 • 単位時間当たりの仕事の仕事率であることを、単位を含めて理解する。 • 仕事をする能力をもった物体はエネルギーをもつことを理解し、エネルギーの変化量と仕事との関係について知り、運動エネルギーや重力による位置エネルギーを、公式を用いて計算できる。 • 力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和であることについて理解する。 • 力学的エネルギーの保存（運動エネルギーと重力による位置エネルギー）に関する計算ができる。 • 絶対温度とセ氏温度との換算ができ、物質の三態が温度によって変化することを知る。 • 熱の出入りと温度変化の関係を理解し、比熱、熱容量、潜熱について知る。 • 熱に関する現象が不可逆変化であること、熱はエネルギーであり、仕事は熱に、熱の一部が仕事に移り変わることについて知る。 • $y-x$ グラフで振幅や波長を読み取ることができ、進行する正弦波において、速さ・周期・振動数・波長の関係を知り、縦波と横波の違いについて理解する。 • 実験を通して波の独立性について理解し、三角波などの簡単な波の重ね合わせを作図できる。 • 進行波と定在波の違いや、弦の定在波などから、定在波には腹と節があることを知る。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 電気 (ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>エ エネルギーとその利用 (ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界 (ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オシロスコープなどを用いて音の三要素を知り、大きさと振幅、高さや振動数の関係について理解する。また、共鳴や共振、うなりについて知る。 ・弦の振動や気柱による共鳴が定在波であり、弦や管の長さにより音の高さが変化することを理解する。また、空気中の音の速さと温度との関係を理解する。 ・具体的な物質の例から導体と不導体の違いについて理解し、抵抗値が物質の種類、抵抗の長さ、断面積に関係すること及び電流が自由電子の流れによることを知る。 ・電気エネルギーを得るために利用している自然界のエネルギー源について知る。 ・放射能と放射線の意味、放射線量の単位について知る。 ・霧箱で放射線の軌跡を観察できることを知る。 ・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていることについて、例えばX線はレントゲン撮影に利用されていることを知る。

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、情報を整理して確認したり、追加の説明を求めたりするなど、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句や表現があっても、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握して内容を理解し、その後の展開を予想して聞き続けることができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、様々な状況や自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。 ・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、その後の内容の展開を予想して聞くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて英和辞典や英英辞典を活用しながら、700語程度以上の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えをもつことができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測したり、背景となる知識を活用したりして読み続けることができる。 ・教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、書き手の伝えたいことなどが聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・概要や要点を把握するために速読したり、詳細を理解するために精読したりするなど、目的に応じた読み方ができる。 ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の構成、段落間の関連などを考えて読み進めることで、文章全体の流れを理解することができる。 ・専門的な情報（例えば経済・環境・文化などに関するもの）や、統計的なデータ（例えば意識調査や実験結

学習指導要領		都立昭和高校 学カスタンダード
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	<p>果など) が示されている図表と文章全体におけるその図表の役割を的確に読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。 教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、その概要を論理的に英語で相手に伝えることができる。 うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いたり、具体例を挙げたりして、情報や考えを相手に的確に伝えることができる。 単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、自分の意図や気持ちに合わせて適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で積極的に話すことができる。 聞き手を意識し、相手に分かりやすく説得力のある表現を選んで話すことができる。 他の生徒が話した内容や話し方について、聞き手にとって更に効果的な伝え方を助言することができる。 英語を使用している人々の日常生活・風俗習慣など、「話すこと」の言語活動を活性化させるために必要な文化的背景について深く理解することができる。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について書く目的を明確に設定して、100語程度の文章を書くことができる。 教科書の文章について、パート毎ごとに、複数の段落からなる要約文を書くことができる。 トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある複数の段落からなる文章を書くことができる。 文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。 自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら読み手に伝わりやすく効果的な表現を用いた文章を

学習指導要領	都立昭和高校 学カスタンダード
	<p>書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none">・必要に応じて英和辞書、和英辞書や英英辞書などを積極的に活用して書く。・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要となる文化的背景について理解する。

